

令和2年度 蓄電池導入補助に関する調査結果

1 調査概要

- 調査名 蓄電池導入補助に関するアンケート
- 実施期間 令和3年12月9日（木）から12月31日（金）
- 調査方法 令和2年度再生可能エネルギー電力活用住宅普及促進事業補助の受給者（1081名）に郵送配付
- 回答率 66.4%（回収数718名）

2 調査の目的

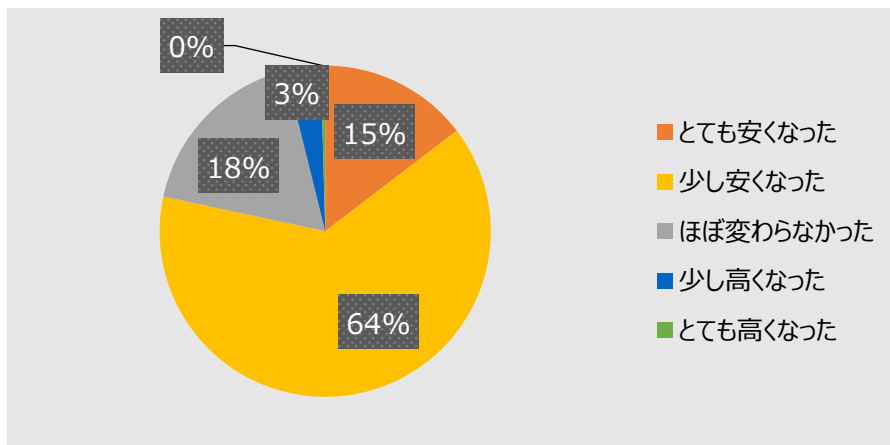
埼玉県では太陽光発電の自家消費を促進し、脱炭素社会の推進と災害時の電源確保の強化を図るため、住宅用蓄電池の導入を支援しています。本県の目指す脱炭素化社会を実現するには、各家庭の二酸化炭素排出量のさらなる削減が欠かせません。そこで、今後より効果的な施策を行う参考とするため、令和2年度に補助金を交付した人を対象にアンケートを実施しました。

3 調査結果

（1）電気料金の変化

→ 8割弱の人が「電気料金が安くなった」と回答

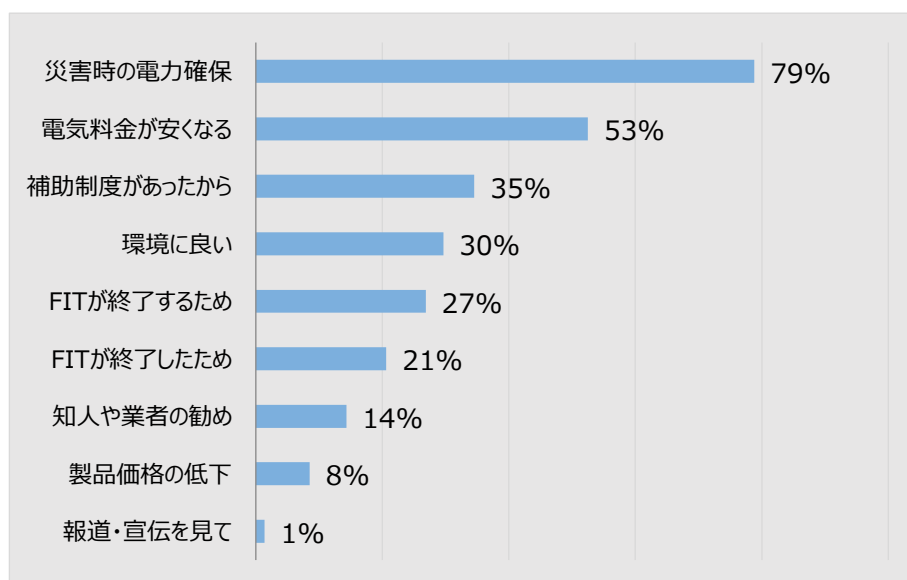
「とても安くなった」（15%）「少し安くなった」（64%）を合わせ、安くなったと回答した人が79%を占めた。一方、ほぼ変わらなかったと回答した人も18%であった。



（2）蓄電池導入のきっかけ

→ 8割弱の人が「災害時の電力確保」と回答（※複数回答が可能な設問）

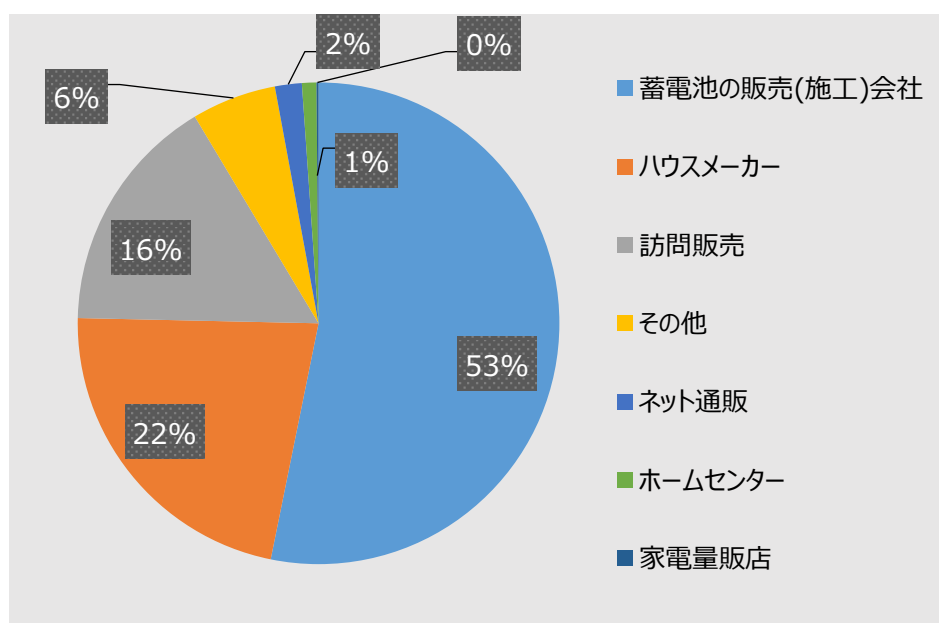
「災害時の電力確保」（79%）が最も多く、次いで「電気料金が安くなる」（53%）であった。「補助制度があったから」と答えた人も35%に上った。



(3) 蓄電池の購入業者

→ 5割強の人が販売（施工）会社と回答

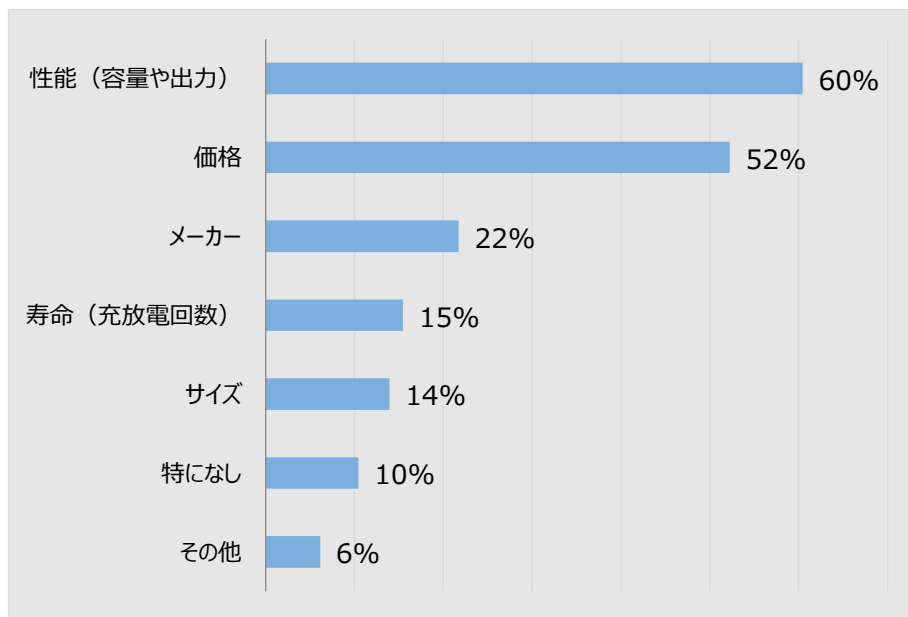
販売（施工）会社（53%）が最も多く、次いでハウスメーカー（22%）、訪問販売（16%）であった。



(4) 蓄電池の購入にあたり重視したこと

→ 7割強の人が性能と回答（※複数回答が可能な設問）

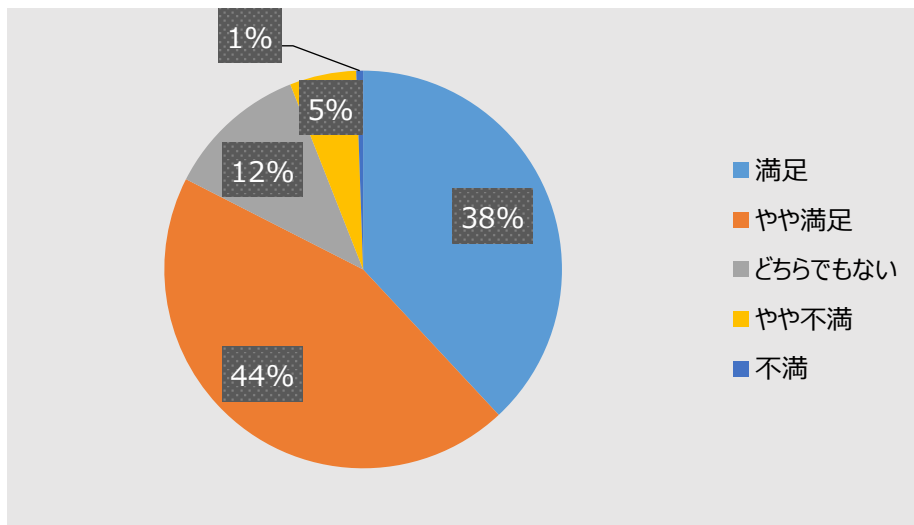
「性能（蓄電容量や出力）」（60%）が最も多く、次いで「価格」（52%）、メーカー（22%）と続いた。



（5）蓄電池導入の満足度

→ 8割強の人が満足と回答

「満足」（38%）、「やや満足」（44%）を合わせて、満足と回答した人が82%を占めた。一方、不満と回答した人は6%（「やや不満」（5%）、「不満」（1%））であったが、思ったより光熱費が安くならなかったという意見が多かった。



（6）自由意見：抜粋

- ・取付けたバッテリーは場所も取らず、熱も出さないので満足しているが、今後もっと効率の良い（電気料金が安くなり、停電時の残量も大きい）ものを期待している
- ・県の補助金は、設備導入を後押ししてくれました。今後も環境の為になる設備には補助金をお願いしたいです。多くの方が導入出来る様をお願い致します。
- ・蓄電池の設置は新築時に検討していたがハウスメーカーが開発中とのことなので先送りしていました。今回補助金の支給を受けて設置しました。大きな目的である災害時に役立てばと考えています。
- ・補助金があり大変助かりました。脱炭素社会に向けてすこしでもご協力できればと思います。ありがとうございました。